

INDEX =====

★GCNJ からのお知らせ★

○GCNJ 会員数最新情報(2016 年 11 月 30 日時点)

○【参加受付中】≪GCNJ、J-GCAN 後援≫ICU・日本の国連加盟 60 周年記念公開セミナー「持続可能な開発目標達成に向けたアクション対話」(12 月 17 日@国際基督教大学)

○【ご報告】「子どもに影響のある広告およびマーケティングに関するガイドライン」完成

○【ご報告】GCNJ「国連ビジネスと人権フォーラム 2016」参加ツアー実施

★国連 GC の最近の動き★

○世界の会員数最新情報(2016 年 10 月 31 日時点)

○COP 22/CMP 12 ハイレベル会合開催(2016 年 11 月 14 日@マラケシュ)

○WEPs ギャップ分析ツール

★GCNJ からのお知らせ★

○GCNJ 会員数最新情報(2016 年 11 月 30 日時点)

GCNJ 会員数 236 企業および団体(休会除く)

アソシエイト会員 9 企業

○【参加受付中】≪GCNJ、J-GCAN 後援≫ICU・日本の国連加盟 60 周年記念公開セミナー「持続可能な開発目標達成に向けたアクション対話」(12 月 17 日@国際基督教大学)

GCNJ メンバーの国際基督教大学(ICU)にて SDGs をテーマとした公開セミナーが開催されます。ご参加ご希望の方は、[こちら](#)よりお申込をお願いいたします。

■日時:2016 年 12 月 17 日(土)14:00~17:30

■会場:国際基督教大学東ヶ崎潔記念ダイアログハウス国際会議室

■プログラム(敬称略):

・開会挨拶 野村彰男(GCNJ 理事)

・対談「責任ある地球市民を育む」

有馬利男(GCNJ 代表理事)、日比谷潤子氏(ICU 学長)

・報告「リベラルアーツから見た SDGs」

西村幹子氏(教育研究所)、Mark Langager 氏(教育研究所)、高松香奈氏(ジェンダー研究センター)、毛利勝彦氏(社会科学研究所)

・アクション対話「世界を変革する」

野村彰男(GCNJ 理事)、頓所明彦氏・信川理恵氏(丸紅株式会社)、d'Arcy Lunn 氏(Teaspoons of Change)、川口美琴氏(GCNJ 日中韓ラウンドテーブル ユース参加学生)

司会・大森佐和氏(社会科学研究所)

・閉会挨拶 毛利勝彦氏(社会科学研究所)

■定員:100 名

■参加費:無料

■主催:ICU 社会科学研究所

■後援:GCNJ、J-GCAN

※このイベントは外務省「日本の国連加盟 60 周年記念事業」の認定を受けています。

○【ご報告】「子どもに影響のある広告およびマーケティングに関するガイドライン」完成

2012 年に策定された「子どもの権利とビジネス原則」の原則 6「子どもの権利を尊重し、推進するようなマーケティングや広告活動を行う」に基づき、企業の広告とマーケティングにおける子どもの権利の保護、および子どもの健やかな成長への貢献を産業横断的に推進することを目的として「子どもに影響のある広告およびマーケティングに関するガイドライン」を策定いたしました。完成を記念して、12 月 1 日にシンポジウムを開催いたします。

シンポジウムご案内と、ガイドラインのダウンロードは[こちら](#)

○【ご報告】GCNJ「国連ビジネスと人権フォーラム 2016」参加ツアー実施

GCNJ で今年初めて企画をしたスイス・ジュネーブで開催された「国連ビジネスと人権フォーラム 2016」への参加ツアー(11 月 13~18 日)には 12 名(GCNJ 事務局関係者含む)が参加しました。ツアー実施前から参加者はフォーラム参加者対象のワークショップを実施したり、情報交換をする中で人権に関する世界の潮流についての学び、参加者間の交流を深めました。また、現地でのネットワーキングにおいても、様々な関係者との連携のもと各種の企画が行われました。11 月 14~16 日の 3 日間のフォーラムでは 64 のセッションと 3 つのプレナリーが行われ、昨年を超える 2500 名の来場者がありました。セッションの 1 つ、イタリア・ドイツ・メキシコ・日本の GC ローカルネットワークの合同セッションでは各国の GC 署名企業がそれぞれの人権に関する取り組み事例を発表し、日本からは住友理工の鈴木氏が自社のサプライチェーンに関する取り組みを発表しました。満席、立ち見が出るほどに盛況なセッションとなり、多数の質問の手も挙がりました。また、ツアー期間中は、各国の GC、人権・労働機関の関係者との交流だけでなく、日本企業が直面する課題や政府への期待などについて、在ジュネーブ日本政府代表部と意見交換をする機会などもありました。フォーラム・ツアーの全体像やハイライト、参加者の感想については 12 月 2 日に開催予定の報告会の中でご報告をさせていただく予定です。本フォーラムは来年も 11 月に開催されることが決まっており、来年のツアー実施については皆様のご意見や要望を踏まえ、検討をする予定ですが、来年はさらに多くの日本からの参加者が増えることを期待し取り組みを推進していきます。

★国連 GC の最近の動き★

○世界の会員数最新情報(2016 年 10 月 31 日時点)

・Business sector 9,175(新規 164 社)

・Non-Business sector 2,893(新規 68 団体)

○COP 22/CMP 12 ハイレベル会合開催(2016 年 11 月 14 日@マラケシュ)

国連 GC、UNEP ならびに UNFCCC は モロッコ COP 22 プレジデンスーと協力し気候変動に関するハイレベル会合を開催しました。詳細については[こちら](#)。

○WEPs ギャップ分析ツール

国連 GC、Inter-American 開発銀行ならびに UN Women が協働で作成中の WEPs ギャップ分析ツールのオンライン版の準備が進みつつあり、2017 年 3 月に導入予定。詳細は分かり次第ご連絡します。

=====

著者：(社)グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン 事務局

編集：(社)グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン 事務局

【お問合せ先】

(社)グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン

TEL:03-5412-7235 FAX:03-5412-5931 Email:gcjnoffice@ungcjin.net

©2016 Global Compact Network Japan all rights reserved.